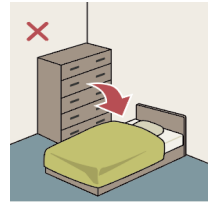


地震が発生する前に

大切な家族と住まいを守るため、何をすべきか？

① 家具・家電の状態をチェック

- 壁や床に固定されているか
- 倒れたら避難経路を塞がないか
- ベッドや机の周り等、長時間人がいる場所に倒れてこないか
- 倒れた先に窓ガラスがないか



② 家具・家電の配置換えと固定



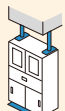
背の高い家具・家電の固定は必ず2人以上で実施を

□ 背の高い家具・家電の固定



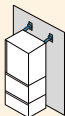
L型金具

ネジで壁の下地材に取付け



突っ張り棒+ストッパー

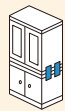
突っ張り棒は家具の両端の壁側奥に配置
ストッパーは家具の足元の端から端まで設置



転倒防止ベルト

裏面の取手にベルトを通して壁に固定

□ 2段に重なった家具の固定



連結固定器具

2段重ねにした家具は、連結固定器具で固定

□ 家具の扉の固定



開き戸ロック

開き戸ロックは粘着タイプやチェーンタイプ
ネジ固定タイプ等がありますが、収納物が重い
場合（本棚等）はネジ固定タイプを

□ テレビや電子レンジの固定



転倒防止マット・耐震ジェル

設置場所のホコリ等を拭き取り、バランスよく貼付け

□ 固定とあわせて倒れにくい置き方を

- 重いものは下段に、軽いものは上段に収納
- 食器は高く積み上げずに下から
中くらいの食器→大きい食器→小さい食器の順に重ねる
- キャスター付き家具は必ずロック

対策していないと・・・

地震で食器棚からお皿が頭の上にたくさん落ちてきた。
頭が切れて血が止まらず病院に



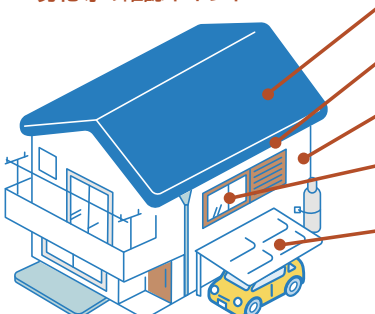
③ 家具・家電の固定完了！



家具の配置換え・固定とあわせて建物も確認を！

- 建築基準法改正前（1981年6月1日以前）に建てられた建物は、耐震性能が不足している場合があるため、耐震化の検討を
- 1981年6月1日以降の新耐震基準で建てられた建物においても、劣化等が懸念される場合は耐震診断を実施し、「揺れに強い家」になっているか確認しましょう
- 耐震診断・耐震化について、助成金を出したり業者を紹介する自治体が多くあります。まずは自治体のホームページを確認しましょう

<劣化等の確認ポイント>



屋根 ひび割れ、ずれ、めくれ、剥がれ はないか

雨どい ひび割れ はないか

外壁・塀 ひび割れ、めくれ、剥がれ はないか

窓・扉 ひび割れやがたつき はないか

柵、アンテナ、カーポート、プロパンガス、
室外機、物置、庭木などの固定物

がたつきがないか、しっかりと固定されているか



屋外やベランダから可能な範囲で点検し、
屋根にのぼる点検は専門業者に任せる



自ら修理業者を選定する場合は、
悪徳業者にご注意を